

令和6年度 国語・書写 第1学年 年間指導計画

月	単元名	教材名【領域】	時数	学習目標	評価規準			学習指導要領
					知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に 取り組む態度	
4	豊かに想像する	朝のリレー【読む（詩）】	2	<ul style="list-style-type: none"> ●詩の構成や表現の効果について考えながら、情景を想像して音読する。 ●詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 	進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((1)ウ) (Cエ) (Cオ)
		竜【読む（物語）】	4	<ul style="list-style-type: none"> ●描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 ●擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 	進んで心情の変化などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((2)イ) (Cイ) (Cエ)
5		グループディスカッション 話題や展開にそって話し合いをつなげる【話す・聞く】	4	<ul style="list-style-type: none"> ●話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解し、活用する。 ●必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。 ②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 	積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	知技((2)イ) (Aエ) (Aオ)
		言葉発見① 音声のしくみとはたらき	1	<ul style="list-style-type: none"> ●音声のはたらきやしくみについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①音声のはたらきやしくみについて、理解を深めている。 		進んで音声のはたらきやしくみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア)
		漢字を身につけよう①	1	<ul style="list-style-type: none"> ●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①常用漢字(300字～400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。 		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)

6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着	1	●説明文の基本構造を理解する。	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	(Cエ)
		クジラの飲み水 【読む(説明)】	4	●段落と段落の関係に着目しながら、文章の展開を捉え、内容を読み取る。 ●読み手にわかりやすく伝えるための、筆者の表現の工夫を捉える。	①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	①「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。 ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。	進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	知技((2)イ) (Cア) (Cエ)
		漢字のしくみ1 活字と手書き文字 画数・筆順	1	●活字と手書き文字・画数・筆順について理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)
		レポート 調べたことを整理して わかりやすくまとめる 【書く】	5	●調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。 ●レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。	①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	①「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ②「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。	知技((2)イ) (Bア) (Bイ)
		言葉発見② 話し言葉と書き言葉	1	●話し言葉と書き言葉の違いについて理解を深める。	①音声のはたらきやしくみについて、理解を深めている。 ②常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ③事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで音声のはたらきやしくみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ア) 知技((1)イ) 知技((1)ウ)
		漢字を身につけよう②	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知・技((1)イ) (1)ウ)

7	3	空中ブランコ乗りのキキ 【読む（物語）】 読み方を学ぼう②	4	<ul style="list-style-type: none"> ●描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。 ●登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 	進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((2)ア) 知技((2)イ) (Cイ) (Cオ)
		文法の窓1 文法のまとめ 言葉の単位・文節の関係	3	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉の単位・文節の関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①単語の類別について理解している。 		進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)エ)
		字のない葉書 【読む（随筆）】 読み方を学ぼう③ 行動描写	3	<ul style="list-style-type: none"> ●場面と場面、場面と描写などを結びつけて、内容を解釈する。 ●行動の描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。 	進んで心情の変化などについて描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	知技((2)イ) (Cイ) (Cウ)
		漢字のしくみ2 部首の成り立ち	1	<ul style="list-style-type: none"> ●漢字の部首と成り立ちについて理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①常用漢字(300字～400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。 		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)
		随筆 体験に向き合い意味づける 【書く】	4	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことを中心に明確にしてまとめる。 ●交流をとおして、表現のよい点や改善点を見つける。 	<ul style="list-style-type: none"> ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。 ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 	粘り強く日常生活の中から題材を決め、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	知技((2)イ) (Bア) (Bオ)
		私の読書体験 本を読むことのおもしろさ	2	<ul style="list-style-type: none"> ●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、読書をとおして自分の考えを確かなものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 	進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	知技((3)オ) (Cオ)

		漢字を身につけよう③	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為, 心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め, 学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	(知・技(1)イ) (1)ウ)
9	4	玄関扉 【読む(説明)】 読み方を学ぼう ④ 三角ロジック	4	●文章の要旨を捉え, 筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ●論の展開・構成をふまえて, 「外開き」が肯定される過程を捉える。	①原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ②比較や分類, 関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め, それらを使っている。	①「読むこと」において, 文章の中心的部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え, 要旨を把握している。 ②「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の効果について, 根拠を明確にして考えている。 ③「読むこと」において, 文章を読んで理解したことに基づいて, 自分の考えを確かなものにして考えている。	進んで事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え, 学習課題にそって考えをまとめようとしている。	知技((2)ア) 知技((2)イ) (Cア) (Cエ) (Cオ)
		言葉発見③ 接続する語句・指示する語句	1	●指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。		進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め, 学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) (1)エ)
		スピーチ 構成を工夫して 魅力を伝える 【話す・聞く】	5	●日常生活を振り返って話題を選び, 自分の考えが明確になるように, 構成を工夫する。 ●聞き手の反応をふまえながら, 表現を工夫して話す。	原因と結果, 意見と根拠など, 情報と情報との関係について理解している。	①「話すこと・聞くこと」において, 目的や場面に応じて, 日常生活の中から話題を決めている。 ②「話すこと・聞くこと」において, 自分の考えや根拠が明確になるように, 話の中心的部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などに注意して, 話の構成を考えている。 ③「話すこと・聞くこと」において, 相手の反応をふまえながら, 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	積極的に構成を考え, 学習の見通しをもって話そうとしている。	知技((2)ア) (Aア) (Aイ) (Aウ)
		漢字を身につけよう④	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為, 心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め, 学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)

10	5 古典に学ぶ	月を思う心 【読む（解説）】	1	●古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。	古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。	「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。	進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	知技((3)イ) (Cア)
		竹取物語 【読む（古文）】 古文の読み方 古典の仮名遣い	4	●古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じる。 ●登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。	音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。	①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ) ②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びついたりして、内容を解釈している。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして考えている。	進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((3)ア) (Cイ) (Cウ) (Cオ)
		表現プラザ 変わり身の上話 【書く】	2	●目的や意図に応じて、身のまわりから題材を取り上げて書く。 ●交流をとおして題材の特徴の捉え方や発想のおもしろさ、表現の工夫などを見つける。	事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。	①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。 ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見直しをもって短い話を書こうとしている。	知技((1)ウ) (Bア) (Bウ) (Bオ)
		故事成語——矛盾 【読む（漢文）】 漢文の読み方 訓読の仕方	3	●訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 ●話の展開を捉え、表現の効果について考える。	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムをとおして、古典の世界に親しんでいる。	①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	進んで文章の構成や表現の効果捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	知技((3)ア) (Cイ) (Cエ) (Cオ)
		漢字のしくみ3 漢字の音と訓	1	●漢字の音と訓について	①常用漢字(300字～400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)

		漢字を身につけよう⑤	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為, 心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め, 学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)
11	6	複数の情報を関連づけて考えをまとめる【情報】 防災に関するデータ【読む(図表)】 「みんなでいるから大丈夫」の怖さ【読む(記録)】	5	●意見と根拠などの関係に注意し, 互いの発言を結びつけながら話し合い, 考えをまとめる。 ●原因と結果, 意見と根拠などの関係に注意しながら, 文章などを読んで理解したことをもとに自分の考えをもつ。	①原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ②比較や分類, 関係づけなどの情報の整理の仕方, 引用の仕方や出典の示し方について理解を深め, それらを使っている。	①「話すこと・聞くこと」において, 話題や展開を捉えながら話し合い, 互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 ②「読むこと」において, 文章の中心的な部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え, 要旨を把握している。 ③「読むこと」において, 目的に応じて必要な情報に着目して要約し, 内容を解釈している。 ④「読むこと」において, 文章の構成や展開, 表現の効果について, 根拠を明確にして考えている。	積極的に情報と情報との関係に注意して内容を解釈し, 学習の見通しをもって話し合い, 考えをまとめようとしている。	知技((2)ア) 知技((2)イ) (Aイ) (Aオ) (Cア) (Cウ) (Cエ)
		行事案内リーフレット 必要な情報をわかりやすく伝える【書く】	4	●集めた材料を, 書く目的や意図に応じて整理し, 伝えたいことを明確にする。 ●読み手の立場に立って文章を読み返し, 表記や表現の仕方を整える。	比較や分類, 関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め, それらを使っている。	①「書くこと」において, 集めた材料を整理し, 伝えたいことを明確にしている。 ②「書くこと」において, 読み手の立場に立って, 表記や語句の用法, 叙述の仕方などを確かめて, 文章を整えている。	粘り強く表記や語句の用法を確かめ, 学習の見通しをもって行事案内リーフレットを書こうとしている。	知技((2)イ) (Bア) (Bイ) (Bエ)
		文法の窓2 文法のまとめ 単語の類別・品詞	3	●単語の類別・品詞について理解する。	単語の類別について理解している。		進んで単語の類別について理解し, 学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)エ)
		漢字を身につけよう⑥	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為, 心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め, 学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ)

12	7 読みを深め合う	<p>それだけでいい【読む(詩)】</p> <p>読み方を学ぼう</p> <p>⑤ 詩の表現技法</p>	2	<p>●詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。</p> <p>●表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。</p>	<p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>①「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。</p> <p>②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	<p>進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>知技((2)イ) (Cイ) (Cウ) (Cエ)</p>
		<p>言葉発見④ 比喩・倒置・反復・対句・体言止め</p>	1	<p>●比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。</p>	<p>①事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>②比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p>		<p>進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	<p>知技((1)ウ) 知技((1)オ)</p>
		<p>詩 思いや発見をリズムに乗せる【書く】</p>	4	<p>●日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理して、伝えたいことをしぼり込む。</p> <p>●自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫し、作品全体を整える。</p>	<p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>①「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。</p> <p>②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。</p>	<p>粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。</p>	<p>知技((2)イ) (Bア) (Bウ) (Bエ)</p>
		<p>トロッコ 【読む(小説)】</p> <p>読み方を学ぼう</p> <p>⑥ 情景描写</p>	5	<p>●人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。</p> <p>●情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。</p>	<p>比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。</p>	<p>①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</p> <p>②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。</p> <p>③「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</p>	<p>進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。</p>	<p>知技((2)イ) (Cイ) (Cウ) (Cエ)</p>

	読書活動 ブッククラブ 【話す・聞く】	2	●読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。 ●話し手の考えとの共通点や相違点をふまえながら、自分の考えをまとめる。	①引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ②読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。	積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。	知技((2)イ) 知技((3)オ) (Aア) (Aエ)
	漢字を身につけよう⑦	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字~400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)
1	8 視野を広げる 意味と意図 ——コミュニケーションを考える 【読む(説明)】	4	●必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ●文章で読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。	●比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている	知技((2)イ) (Cウ) (Cオ)
	言葉発見⑤ 方言と共通語	1	●共通語と方言の果たす役割について理解する。	①事象や行為、心情を表す語句の量を増している。 ②共通語と方言の果たす役割について理解している。		進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)ウ) 知技((3)ウ)
	意見文 根拠を明確にして 考えを述べる 【書く】	6	●伝えたい内容の中心が明確になるように、文章の構成や根拠の明確さを意識してまとめる。 ・根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	①「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ②「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ③「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。	知技((2)ア) (Bイ) (Bウ) (Bオ)

		漢字を身につけよう⑧	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字～400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)
2	9	少年の日の思い出【読む(小説)】 読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点	5	●登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉える。 ●過去を回想する構成や語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	①「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。 ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ③「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	知技((2)ア) (Cイ) (Cエ) (Cオ)
		漢字を身につけよう⑨	1	●常用漢字の読み・書きについて理解を深める。	①常用漢字(300字～400字)を読んでいる。 ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。		進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	知技((1)イ) 知技((1)ウ)
3		グループ新聞 一年間の自分とクラスを 振り返って 【話す・聞く】 【書く】	8	●取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。 ●読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。	①「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 ③「書くこと」において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ④「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。	積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	知技((2)イ) (Aア) (Aオ) (Bウ) (Bエ)
		歌の言葉 栄光の架橋						

書写

月	単元名	時数	単元目標	評価規準			学習指導要領
				知識・技能	思考力 判断力 表現力	主体的に学習に 取り組む態度	
4	1. 読みやすく書くための楷書						
	[やってみよう] 漢字を分解してみよう	1	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。	点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。	点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。	進んで①穂先の向きや筆圧などを確かめ③、学習課題に沿って②点画を書こうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ)
5	漢字の筆使い	2	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。	毛筆で「天地」「春風」を書写するなかで、漢字の筆使いを確かめている。	進んで①漢字の筆使いに注意し③、学習課題に沿って②「天地」「春風」を書こうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ)
	漢字の筆使い 外形と中心/筆順	1	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。 字形の整え方(外形と中心/筆順)を理解して、楷書で書くことができる。	点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書いている。 ・字形の整え方(外形と中心/筆順)を理解して、楷書で書いている。	硬筆で漢字を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。 硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方(外形と中心/筆順)を確かめている。	進んで①、漢字の筆使いに注意し③、学習課題に沿って②楷書で書こうとしている④。 進んで①字形の整え方(外形と中心/筆順)を確かめ③、小学校での学習を生かしながら②楷書で書こうとしている。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ)
6	楷書に調和する仮名(いろは歌)	2	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。	楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。	小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。	積極的に①楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して③、学習課題に沿って②「いろは歌」を書こうとしている④。	知技((3)ア) 知技((3)エ(ア))

	文字の大きさと配列 (俳句)	2	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。	文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。	決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。	進んで①用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え③、学習課題に沿って②小筆で俳句を書こうとしている④。	知技((3)ア) 知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ)
7	点画の組み立て方/部分の組み立て方	1	字形の整え方(点画の組み立て方/部分の組み立て方)を理解して、楷書で書くことができる。	字形の整え方(点画の組み立て方/部分の組み立て方)を理解して、楷書で書いている。	硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方<点画の組み立て方/部分の組み立て方>を確かめている。	進んで①字形の整え方(点画の組み立て方/部分の組み立て方)を確かめ③、小学校での学習を生かしながら②楷書で書こうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ)
7	[コラム]文字の歴史を探る	1	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。	漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。	文字の大まかな歴史を確かめている。	積極的に①文字の歴史について知ろうとし③、学習課題に沿って②身近な使用例を調べようとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((3)エ(ア))
9	[学校生活]目標を書こう	適宜	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。日常生活の中から課題を決め、材料を集めながら自分の考えをまとめることができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	目標を書く活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	進んで①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②目標を書こうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ) (B(1)ア)
9	名文を書いてみよう 1	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②「いろは歌」「竹取物語」「坊っちゃん」を書こうとしている④。	知技((3)ア) 知技((3)エ(ア)) 知技((1)イ)

	2. 読みやすく速く書くための行書						
9	[やってみよう] 速さを比べてみよう	1	漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。	漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。	二つの速さで書き比べる活動のなかで、両者の形の違いを確かめている。	積極的に①速く書いたときの文字の特徴を捉え③、学習の見通しをもって②行書を学ぶ意義について話し合おうとしている④。	知技((3)エ(ア)) 知技((3)エ(イ)) 知技((1)イ) (A(2)イ)
9	行書の特徴	1	漢字の行書の特徴を理解することができる。	漢字の行書の特徴を理解している。	行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確かめている。	積極的に①楷書と行書の違いを考え③、学習課題に沿って②行書の特徴を話し合おうとしている④。	知技((3)エ(イ)) 知技((1)イ) (A(1)オ) (A(2)イ)
10	丸み点画の連続	2	漢字の行書の基礎的な書き方(丸み点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。	漢字の行書の基礎的な書き方(丸み点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。	毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで、行書の特徴<丸み点画の連続>を確かめている。	進んで①行書の書き方(丸み点画の連続)を理解し③、学習課題に沿って②「一」「二」「口」を書こうとしている④。	知技((3)エ(イ)) 知技((1)イ)
11 ・ 12	点画の変化 ◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	3	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	(毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。)	進んで①行書の書き方(点画の変化)を理解し③、学習課題に沿って②「大木」「北西」「月光」を書こうとしている④。	知技((3)エ(イ)) 知技((1)イ)
	点画の変化	1	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。	漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。	硬筆で漢字や語句を書くなかで、行書の基礎的な書き方<点画の変化>を確かめている。	進んで①行書の書き方(点画の変化)を理解し③、学習課題に沿って②漢字や語句を書こうとしている④。	知技((3)エ(イ)) 知技((1)イ)
1 ・ 2 ・ 3	[国語]季節のしおり 1	1	今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。	今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	積極的に①習得した知識・技能を振り返り③、今までの学習を生かして②季節の言葉をなぞろうとしている④。	知技((3)ア(ア)) 知技((3)ア(イ)) 知技((1)イ)